

令和6年度 第1回 大田区基本計画懇談会専門部会(基本目標4)議事録

日時	令和6年8月26日(月)から9月3日(火)まで
手法	書面開催
委員	○ 中西 正彦 ○ 松山 知規 ○ 三木 伸良 ○ 永井 隆 ○ 大橋 たけし ○ えびさわ 圭介 ※○:出席、欠:欠席
議事	(1)施策内容について (2)区民ワークショップの開催結果
資料	資料1 施策体系 資料2 施策内容(基本目標④) 資料3 区民ワークショップの開催結果 資料4 今後の予定

1 議題1(施策内容について)に関する意見

施策 4-1「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

◎中西部会長

無電柱化は一般には景観的な側面で意義をとらえられることが多いように思う。防災減災に資することはあろうが、その程度は他の課題に比べて高いとは思われない。また防災減災に資するような無電柱化は都市計画道路のような幹線道路ではなく、むしろ細街路で施されなくてはならないようにも思われる。無電柱化の災害対策としての意義はもう少し説明と検証が必要ではないか。また同じ意味で、指標の順番としても先に橋梁関係の⑤と⑥が示される方がいいように思われる(指標の順番に意味があるのであれば)。

◎三木委員

- ・自治会町会でも無電柱化の要望を出している。
- ・橋梁がどんどん古くなっていることにも課題を感じている。

◎永井委員

- ・無電柱化により、どう災害に強くなるかの説明が不十分と思われる。
- ・高台避難について、高台の定義が不十分と思われる。

◎大橋委員

- ・無電柱化について

期間短縮、コスト削減につながる新技術を積極的に取り入れ、国や都の補助金も活用し取り組むことが必要である。

- ・橋梁について

区民の暮らしと人命を守るため、引き続き計画的かつ着実に架け替え、耐震補強を進めていくことが重要である。また整備においてバリアフリーで、住民に喜ばれる景観を考えたデザイン性も含んでの整備を要望する。

施策4-2「地域力を活かした防災対策の推進」

◎中西部会長

デジタル技術の活用は重要だが、具体的導入に関する技術的側面とそれがしっかり区民に使えるものとなるか／できるかが難しい。それらに関する施策の具体性や指標の適切性が不足しているように思われる。

コミュニティの防災力の向上も重要だが、大田区は地域ごとに特性がかなり違っており、それらが一緒くたになっているように見えるのは気になる。地域に応じた情報共有や防災力向上の取組みを進めることが謳えないか。

◎松山委員

施策の方向性については同意する。

デジタル技術を活用する上で、技術面はさることながら、導入・運用する上での業務面での準

備が重要であると認識している。

その点において、導入したデジタル技術に関係機関がどのような手順・役割分担で活用するか、といった実務面での深掘りが重要であると考え、協定締結数というKPIでは不十分であり、締結した関係機関とどのようなオペレーションを実装するのかまでのアウトプットがなされていることにコミットすべきではないかと考える。

同様に、防災アプリなどの区民向けのデジタル技術に関しても、どれだけ区民が利用できる状態になっているかをKPIとして定めていくことなども検討すべきではないか。

本施策を検討するにあたっては、現在内閣府やデジタル庁などが主導し、能登半島地震を教訓にした広域での災害対応に関するデジタル技術活用に関する検討が、デジタル田園都市国家構想交付金のTypeSとして検討がなされており、そこにおける議論もキャッチアップしながら検討を深めていく必要がある。

◎三木委員

総合防災訓練の発信について、地域力推進会議などで総合防災訓練の内容を映像で見る機会があるとよい。実際に見ないとわからない部分もあるので、地域で共有して、地域主体の防災訓練にもつなげられるようにしてほしい。また、学校防災訓練にも反映できるような仕組みが欲しい。

◎永井委員

「総合防災訓練と地域の自主防災訓練との訓練成果の共有率」とあるが、共有とは何かの説明が不十分と思われる。

◎大橋委員

大田区防災ポータル・防災アプリの区民への認知度向上が必要である。

災害時、区民が避難所に避難する際、お住まいの場所と、避難所の場所が現実的でなく、近くにある避難所に避難できるよう、区から指定、情報発信、地域の認識を求める声が複数あり、住民の声を聞きながら現実的な避難所計画見直しが必要である。

医療救護所について、発災前に区民に医療救護所とはどういった方が、どのような判断で、どの程度の処置が出来るのかなど、具体的に知っておく必要がある。また屋外に医療救護所が設置される場合は、雨天時の対策、暑さ寒さ対策が必要である。

要配慮者避難について、個々の状況が違い、区や地域が行う防災会議や訓練等に出られない方々も多く、個別に支援計画が必要。

また避難所において、具体的な配慮が必要になるため、各障がい者団体等と区との意見交換が重要であり、その上で実際避難所運営に携わる地元地域の方々と事前の共有が必要である。

災害時、し尿や生活系廃棄物の運搬体制と共に、各避難所等においても「どこに」「どのように」置いておくか等明確にし、地域住民が事前に認知しておく必要がある。

避難所におけるペットの避難について、具体的な受入れ場所、手順、運用について協議が必要である。

施策4-3「治安がよい美しいまちの実現」

◎中西部会長

「治安が良い」と「美しい」が同じ施策にくくられていることは違和感がある。おそらく「治安」という言葉が強いからだ。内容は「治安」にとどまらない「安全・安心に暮らせる」という点にあるように思う。「安全・安心に暮らせる美しいまち」というくらいの方がよいようにも感じる。一方、もちろん「治安」は重要だが、指標に体感だけでなく実際の犯罪発生数が前提としてあるべきではないか。

「美しい」についてはタバコと清掃活動だけかという気もする上に、指標がタバコだけになっており、せっかく施策に盛り込んでいるのにあまり観察・把握できそうにない。より適切な指標を検討できないか。

◎松山委員

防犯や喫煙対策などにおいて、限りある人的リソースを前提に、AIカメラやセンサーなどのデジタル技術を活用した取り組みも検討のスコープには入れるべきではないか。

◎三木委員

大田区の防災無線をもっと活用したほうが良いと考えている。災害時等以外にも使えるのであれば、不審者対策に使えないか。例えば小学生の下校時間にあわせて、地域に見守りを呼びかける放送を流すことで、犯罪の抑止力につながるのではないか。下校時間はおおむね毎日決まっているので、自動的に流れるようにセットしておけばよい。

◎永井委員

- ・「体感治安」について、警察用語のようで、あまり身近でないので説明が欲しい。
- ・消費者相談の「何らかの解決に導いた」が曖昧な表現であり、何か例示を挙げられないか。

◎大橋委員

・特殊詐欺対策について、引き続き自動通話録音機の無料貸出が必要である。

・詐欺手口の巧妙化について区民に具体的にお伝えし、官民で協力し注意喚起に引き続き取り組み続けることが重要である。

・喫煙について、歩き、自転車、バイク、車のポイ捨て等による火災の危険、また接触により火傷の危険、健康被害(喫煙者・受動喫煙)など、区内全域による意識啓発、マナー対策をはじめ、区民の健康と安全を守るため積極的な取り組みが必要である。

・犯罪・被害防止について

オンラインカジノは犯罪であること、またインターネットを通じた犯罪、消費者トラブルについて、現在、そして将来、犯罪や被害に巻き込まれないよう学校での分かりやすい注意喚起を続けていくことも大切である。

- ・また依存症についても伝えていく必要がある。

◎えびさわ委員

引き続き喫煙所整備は街の美化、マナー啓発と含めて区有地のみならず、民間とも連携して理解を求めて整備すべきである。

特殊詐欺被害に関しては名を変え品を変えて来るので、情報を警察と連携強化。

施策4-4「地域の魅力を活かした拠点づくり」

◎中西部会長

「拠点」という語が意味するものがわかりにくい。「主要な駅を中心とした、区の都市構造上重要な地区」ということかと思うが、「拠点」だけだとコミュニティ的にはたとえば出張所などの建物を想定する向きもありそうである。「拠点地区づくり」と言った方がよいのではないか。

また、指標が区民の感想・感覚だけなのはよろしくないように思う。その時々为社会状況に左右されるもののため。区民の感想や感覚は重要としても、たとえば整備に関する事業数や具体的取組等、状況に左右されない指標なども置けないか。

◎松山委員

特に蒲田駅前などの中心的な駅周辺の整備においては、民間事業者(鉄道・デベロッパー等)の投資誘因が不可欠であるが、他のエリアではなく大田区に投資をしてもらうための差別化ポイントが何かをもう一段深掘りをする必要があるのではないか

◎永井委員

区民調査・意識調査について、調査回答総数の数が不明なため、指標が統計的に有効か不明である。

◎大橋委員

駅周辺まちづくりについて、駅はアクセスだけではなく、生活の場でもあり、買い物など便利で、憩いの場や、飲食など住民そして駅利用者にとって、とても魅力的な取り組みが重要であり、また衛生的で、デザイン性や環境に配慮した取り組みが必要である。

そのためにも鉄道事業者と行政が連携し、住民の声やニーズを聞き、素敵なまちづくりに実績のあるような専門家とも連携を取り、区民に喜ばれる魅力ある駅周辺まちづくりを求める。

◎えびさわ委員

主要駅のみならず、大田区全体のつながりを考えるべき(蒲田・大森駅前開発は大前提)。

施策4-5「誰もが移動しやすく利便性の高い多様な交通ネットワークの形成」

◎中西部会長

きめ細やかな交通手段とネットワークの構築が必要ということだと理解するが、大田区のどこでどう導入すべきか、社会実験や適宜の修正変更も踏まえて柔軟に進める必要があり、それを謳う必要があるのではないか。

自転車の普及やルート整備は裏を返せば自動車との接触の危険性を避けることが必要である。歩行者との関係からも、実は自動車の走り方も整える施策がある方が望ましい。一方通行などの

見直し、地域ごとの速度制限などが考えられる。

指標①②は区民の感覚だけの指標でよいのか。新空港線はこれからの事業なのでしかたないとしても、公共交通の整備については、例えば公共交通へのアクセスに難がある住民割合など、感覚だけでない評価が必要と思う。少なくとも②「大田区内の」と大きく聞くのではなく、自身の環境として公共交通を利用しやすいかと聞くべき(より具体性を持たせるため)。

◎松山委員

(過去の検討経緯を正しく理解できていない立場であるため、論点がずれているかもしれないが)新空港線の整備を望む区民の割合というものがKPIになっていることに客観的にみると少し違和感を覚えてしまう。

望む区民が少ないということは、そもそもそこに課題がないのかもしれないし、この施策が利便性の高い交通ネットワークの形成に繋がらない施策になっている可能性にも思えてしまう。

一方で、この施策が区民の利便性向上や区にもたらす経済効果として、非常に重要な施策であるという前提がすでにあり、そのことが区民に伝えられていないため、せっかく整備してもその効果が最大化されないという点に課題認識をおいているのであれば、現在の設定にも一定の理解はできるところではある。

◎三木委員

・交通の利便性向上を図るには高額な費用を要するため難しいかもしれない。賛否色々あると思うが、呑川を暗渠化して、歩行者と自転車の専用道にすると利便性向上につながると考えられる。そうすることによって羽田空港方面まで自転車ですぐに行けるようになる。また、上池上から蒲田に電車やバスで出るには不便だが、呑川自転車道ができれば蒲田まで行けるようになる。

・新空港線について、完成すれば利便性は上がるが、大田区がただの通過点にならないように手を打っていかなければならない。

◎永井委員

・自転車ネットワークの種類が不明なので、170kmと言ってもピンとこない(専用道、レーン、ナビマーク・ナビラインのどれ?)。

・意識調査について、調査回答総数の数が不明なため、指標が統計的に有効か不明である。

◎大橋委員

・デマンド交通について、高齢者が増加している中、公共交通であるバスの減便が続いており対策が必要。山坂が多い箇所や、公共交通がないエリアなどにまず走らせる事が重要であり求める。そして広く区民に知って頂く広報の取り組みも積極的に行って頂きたい。

・新空港線整備について、区民にとって、大田区にとってどういった良さがあるのか、区民に引き続きお伝えしていくことが重要である。

◎えびさわ委員

コミュニティバスからコミュニティサイクル、デマンドバスと移動手段を考え実行しているが、効果検証によっては廃止、新案など柔軟な対応が必要である。

施策4-6「誰もが快適に暮らし過ごせる生活環境の整備」

◎中西部会長

これは施策のタイトルがもっともあいまいでわかりにくい(内容を想像しづらい)。「生活環境」というソフトともハードともとれる語ではなく、「都市基盤と住まい」などとはっきり書いてもいいのではないか。自転車対策や交通ルールなどは別の施策(4-3や4-5)に振り分けてもよいのではないか。

目標値は他と同様、極力区民の感想にとどまらないものとするべき。特に指標①は満足度よりは(狭あい道路だけではない)道路などの整備率などがよいのではないか。

◎永井委員

- ・世論調査について、調査回答総数の数が不明なため、指標が統計的に有効か不明である。
- ・放置自転車について、駐輪場の整備だけでなく、放置防止の啓蒙活動も挙げるのはどうか。

◎大橋委員

- ・住宅リフォーム助成について、対象事業の見直し、拡充も含め区民から高評価を頂いているが、1回しかご利用出来ないことについて改善の声が上がっている。区民の暮らしの住環境を守るため制度の改善が必要である。
- ・道路のインフラの維持管理について、区民の命と暮らしを守るため、新技術を活用し道路のインフラを維持管理していくことは重要であり、引き続き取り組みを求める。
- ・住宅確保要配慮者支援について、協力不動産のリストをもとに、不動産をまわり物件を探した上で、物件が見つからない場合に、住宅確保要配慮者支援事業に移行できるが、高齢者にとっては、不動産リストを区役所に取りに行くことも、不動産を何件もまわることも困難な方がいらっしゃる。体の状態や、生活環境など状況によっては、住宅確保要支援事業に直接ご相談出来る寄り添った支援が必要である。
- ・駅周辺駐輪場整備について、乗降客が多い駅など、駐輪場が足りない箇所もあり、現実に即した駐輪場の整備が必要である。また、近年自転車のサイズが大きく変わっており、従来の駐輪場では1台1台のスペースが狭すぎて、1つおきに自転車を止めざるを得ない。また、1つおきに置いても自転車が接触していて簡単に出せないなどの状況が起きている箇所もあり、駐輪場自体のスペースの規格も早急に改善へ向けて取り組む必要がある。

施策4-7「世界と日本をつなぐ空港臨海部のまちづくり」

◎中西部会長

空港臨海部、とはもっと広い地域(産業地帯も含むなど)を示す語と認識しているが、この施策では「HANEDA GLOBAL WINGS」にかなり絞っているように見える。それでよいのか。これは批判しているわけではなく、あえてそのような位置づけを行っているのであれば、それでよい(説明はもっと必要に思う)。

◎永井委員

・「HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり」について、「まちづくり」は「身近な居住環境を改善」し、「地域の魅力や活力を高める」と思うが、「居住空間」はWINGSに関係するか。

・意識調査について、調査回答総数の数が不明なため、指標が統計的に有効か不明である。

・空港臨海部のあるべき姿について、今一つ抽象的であり、具体的な施策が欲しい。

◎三木委員

・HICityについては羽田地区だけの話になってしまい、大田区全域としての話にはあまりならない。HICityに行って楽しいのか？公園もわざわざ調布地区から行くのか？行くメリットがなかなか見えてこないのを課題に感じている。現状では、一般区民や子どもたちが見に行きに行き楽しめる空間にはなっていない。糞谷羽田地区の人しか関心を持たないような地域にならないようにすべき。空の日イベントがもっとうまく行けば、大田区全体としての活性化につながるのではないかと思う。

・ライブ目的でHICityに行く若者は多いかもしれないが、そこから大田区の魅力発信につながるなど、波及効果を狙うべき。

◎大橋委員

・臨海部アクセスについて

区内外から多くの方が通勤等で通われる臨海部において、以前からアクセスの改善を求める声が多く上がっており、最近さらに朝のバスも減便になり、その声は更に増えている。事業者からは採用募集を行っても思うように進まずアクセスの問題が大きいとの声も上がっている。臨海部は、仕事、レジャーなどアクセス改善がとても重要であり改善を求める。

・公園やスポーツ施設など点在する魅力ある資源を十分活用できる散策路整備について、健康寿命への意識が高まる中、区民の健康増進のためにはとても重要であり、必要な取り組みである。魅力ある大田区につながる取り組みを引き続き要望する。

◎えびさわ委員

親水、水辺を活かしたまちづくりを(公園・水上交通)、陸・海・空をよりつなげることが大切。

施策4-8「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

◎中西部会長

公園整備は大田区の住宅地域では特に重要な施策となると思う。一方で公園の利用に制限が多くなってきたり、そもそも利用する人が少なかったりという問題もある。

公園に愛着を持ち、使い、メンテナンスなどまでしてくれる主体を作るには、公園整備の段階から住民参加なども行って、愛着を育てる取り組みが必要。そのような視点も盛り込めないか。目標値は、公園整備の事業数なども入れられないか。

◎松山委員

施策の方向性に同意する。

一方で、公園環境の充実は、昨年のアンケート結果からも区民の一番の関心事であり、また、他自治体(豊島区等)の事例をみても新たな住民を呼び込むブランディングの観点からしても非常に重要な施策であると認識している。

そのため、個別の公園をボトムアップで改善していくアクションだけではなく、大田区全体の公園を活かしたまちづくりに関するビジョン・コンセプト的なものを打ち出していくことも同時に検討すべきではないかと考える。

◎永井委員

魅力ある公園とは、規模だけでなく、そこで何が出来るか(何が出来ないのか)が重要になると思うので、それについても言及してほしい。

◎大橋委員

・公園について、お子様から高齢者まで、暮らしの中で大切なのが魅力ある公園づくりと考える。

明るく衛生的で、だれもが安心してご利用でき、またワクワクするような工夫、健康増進に繋がる工夫、自然や緑を大切にし、憩える場となる公園整備が求められている。

またトイレについて、旧式の暗くて、扉が開かなかったり、危険であったり、衛生的に避けてしまうトイレは改善し、常に綺麗で、だれもが安心してご利用出来るトイレであることは、魅力ある公園につながる。

・キャンプ場について、平和島キャンプ場はリニューアルを行い、ご利用される区民の皆様から高い評価の声が上がっている。また、その中でトイレが綺麗と言う声も多く上がっている。野球場や、アスレチックも多くの子どもたちがご利用されており、引き続き、区民の皆様にご喜ばれる整備が重要である。

・ボール遊びが出来る公園について、求める声がある一方、近隣からの苦情もある状況と聞いている。都心では難しい課題だが、住民の方にご迷惑にならない場所で、子どもから大人まで安心してボール遊びができる環境整備が必要と考える。

◎えびさわ委員

公園に特色を持たせて、利用の用途を別けて老若男女が笑顔になる施策を推進すべき。

施策4-9「貴重な水やみどり、生き物を未来に残す環境づくり」

◎中西部会長

「環境」は重要な分野であり、大きな持続可能性の観点から区の総合的な施策にはしっかり謳うべきだが、一方で具体的な取り組みを描きにくい点も否めない。現在の施策の案もそこに迷いというかなにを行えばいいかという悩みを感じる。ひとつには河川や池といった水の流れ、水面とその周辺を大切に(保全、整備や活用)することが大切で、そこをもっと盛り込めないか。指標がみどりに関する大きなものだけなものも気になる。もう一步具体的な指標が欲しい。水に関することも踏まえたものなど。

◎永井委員

- ・世論調査について、調査回答総数の数が不明なため、指標が統計的に有効か不明である。
- ・「グリーン基金」に興味を持ったが、具体的な説明が欲しい。

◎大橋委員

近年、自然災害が年々増加する中、地球温暖化防止対策は喫緊の課題であり、持続可能な世界につながる取り組みである。

大田区は人口も多く、産業の集積、空港や交通の拠点、物流の拠点にもなっているからこそ、自然環境を守ることが区民を守り、広く生活環境を守ることにつながる。

現在区では、水やみどり、生き物を守り残すため取り組んでいるが、引き続き専門家等の助言も頂きながら取り組むことが重要である。

また具体的に、区内にある河川の水質浄化は積極的に進めて頂きたいと思う。呑川は長年取り組んで頂いているが、なかなか改善が見られない状況である。呑川が生まれ変わるぐらい綺麗な川になることを望む。

また内川は、未だ合流式になっており雨天時には生活排水が流れ込んでおり、河川そして大森ふるさとの浜辺公園の海水にも影響が出ており、改善が必要である。

さくらのプロムナード整備においては、区民の方々に大変喜ばれている。

ぜひ内川沿いにおいても「さくらのプロムナード」を引き続き整備して頂き、続いた先にある大森ふるさとの浜辺公園の桜を更に充実させていくことが、区民の憩いの場、魅力創出につながる。

また浜辺の散策路を整備することにより区民の健康増進につながる。

こうした水やみどり自然環境を大田区全域で守り育み、整備していくことが区民の健康増進につながり、これからの大田区の未来を託す子どもたちにも引き継いでいける大切なものとなると思う。

そうした思いで、魅力ある大田区に向けての計画と取り組みを求める。

◎えびさわ委員

関係団体などの知識や経験を最大限利用し、水・みどりの保護、育成の強化から大田区の既存施設を活かして欲しい。

基本目標4全体について

◎中西部会長

目標値や指標の設定は、「現状を把握し、トレンドを把握するための指標」と「区の取組みの成果を具体的に評価するための指標」の、大きく2種類の考え方が必要であり、今の各施策の目標値の案はそれが混在しているように思われる。上記の観点で全体を見渡して整理できないか。

◎永井委員

施策7(空港を生かした活気とやすらぎ)は、大田区ならではの特色ある施策であり、色々アピール出来るのではないか。

◎えびさわ委員

基本目標や各施策を縦割りにならぬ様、求める。

2 議題2「区民ワークショップの開催結果」に関する意見

◎中西部会長

こども、若者を育てるワークショップとしては有益だと思う。

だからこそ、集めた意見をどう反映するかをしっかり検討すること、それを参加してくれたことも、若者にフィードバックすることが必要。

◎永井委員

参加人数が少し少ないような気がしないでもないが、色々な区民の声が聞けてよかったと思われる。

◎えびさわ委員

意見・要望は多く聞く事は大切である。

3 自由意見

◎永井委員

他の専門部会の施策も合わせると、すごい量になり、実施には優先付けが必要になると思うが、ぜひ長期計画(役所は原則単年度だから、大変かもしれないが)で実行してもらいたいと思う。

◎えびさわ委員

地域自治会などの活動支援に含め、区民一人ひとりが考えて行動・意見が出来る、集まり・イベントなど団体にこだわらず支援ができるパッケージが欲しい。

以上